

母と子のにわ

—利用者みなさまと母子医療センターをつなぐ—



発行

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター



青少年ルーム（わくわくる一む）開設にあたって

第24号

2010 Spring

目次：

青少年ルーム （わくわくる一む） 開設にあたって	1
母性外来が リニューアルしました	2
仕事紹介 「治験コーディネーター」	3
がんばりやさん	4
「赤ちゃんにやさしい 病院」を目指しています (3)	5
いま研究所では —その1—	5
センターからのお知らせ	6

近年、こども病院は周産期センターの併設、小児救急の開設などその機能および役割は大きく変化しています。入院するこども達も幅広い年齢層になり、長期入院が増えています。このような変化の中でも、プレイルームからトイレに至るまでこども病院のアメニティは乳幼児中心に設計されています。こども病院に入院している青少年はこころ安らぐ場所がありません。ヨーロッパ病院のこども憲章の7条には「こどもたちは年齢や症状にあったあそび、レクリエーション、及び、教育に完全参加すると共にニーズにあうように設計さしつらえられ、スタッフが配属され、設備が施された環境におかれるべきである」と明記されています。つまり、こども病院は青少年にあそび、レクリエーション、教育を提供できる医療サービスを行わねばなりません。このことは、青少年の基本的な人権にかかわる事といっても過言ではありません。

私たちこどもの療養環境改善委員会は、病院におけるこどもの環境と人権を守るために活動を行っています。青少年の問題は当委員会でも長年にわたり議論されてきました。私たち委員会の結論は青少年ルームの開設でありました。

このたび、長年にわたる私たちの願いがかなった青少年ルーム（わくわくる一む）開設となりました。この青少年ルーム（わくわくる一む）は、青少年が青少年らしく過ごすための部屋です。利用対象は中学生からの青少年です。部屋の内容は約1500冊の漫画150本のDVDとそれを上映する大画面テレビとオーディオ装置があります。ゆったりとしたソファがあり漫画やDVDが楽しめます。インターネットができるパソコンが2台あり、卓球ができる大きなテーブルでは料理を作ることできます。ゲーム大会、陶芸教室、カラオケ大会などのイベントも計画中です。この青少年ルーム（わくわくる一む）はマニユライフ生命の寄付金と病院の援助で完成しました。特に、河前院長のご協力なくしてはできなかったと感謝しております。日本で初めての青少年のプレイルームを全国のこども病院に青少年の人権啓発に役立てるように発信してゆきたいと考えます。

（こどもの療養環境改善委員会 稲村 昇）



母性外来がリニューアルしました。

母性外来の感染症室、母性内科診察室、新生児室の改修工事、及び母性外来検査室の新設の計画が出てから約3年、年度末に無事工事が終了いたしました。工事着工に至ったのは、前牧野次長や山路総括が機構本部と粘り強く交渉をしていただいたおかげだと感謝しております。

これまで小児と共用していた検査室ですが、新たに母性外来検査室として設置されました。また、母乳外来は母性棟の病室や緊急診察室を間借りした状態で運営してきましたが、この度母乳外来専用の部屋を設置することができました。加えて産科診療と調整しながら運営していた助産外来も専用の部屋を設置することができました。また、従来助産師が保健指導に使用していた相談室に加えて医師が病状説明や心療内科診察にも利用できる相談室を一室増設しました。内科感染症は、抵抗力の弱い新生児のいる新生児診察室から感染症室は離れた位置への設置が実現しました。同時に、トイレの改修工事も行われ、明るく清潔感のある百貨店のような素敵なおトイレに仕上がりました。

壁や床そしてドアの色、備品などを決めるにあたり、休日にIKEAに出かけイメージを膨らませ仕事とはいえ楽しい時間をすごしました。診察室は病院という威圧感が無く、暖かく落ち着ける雰囲気大切に色調を考え、主に助産師が運営する育児母乳支援室は、照明の色も暖色に変え家庭に近い暖かい雰囲気が出るようにしました。内科感染症室の表示も内科診察室3と表示するなど、感染という言葉の暗いイメージが使用する患者さんに不快を与えないよう気持ちを配慮して内科診察室3ときめました。お母さんの受診についてきた子どもが退屈しないように、助産外来や育児母乳支援室にはおもちゃを置き、緊張する採血室にはモビールをかざっています。待合室ではパーテーションに張り絵で遊べるよう保育士さんたちに作成していただき大好評です。現在も保育士さんやソーイングボランティアの方の協力を得てバージョンアップに取り組んでいるところです。待ち時間対策に、待合室にはテレビを設置し、こどもの為の作品や産前教育の放映も計画しています。外来運営しながらの工事で再三場所を移動しなければならなかったため、仮設診察室の物品の移動や患者さんのご案内は大変でした。小児病棟への夜間の騒音を避けるため日中の工事になり外来患者さんにはご迷惑をおかけいたしました。患者さんが協力してくださり、感謝の毎日でした。騒音のひどかったICU・2Eの皆様、赤ちゃんの1ヵ月健診にご協力くださった小児外来や病棟からの応援のスタッフ、安くてよい品選に協力くださったSPDの浅田さん、中央監視の東山さんをはじめとする皆さん、情報企画部の上田さんをはじめとする各部署のスタッフ、保育士、ボランティア、工事関係者の皆様には感謝感謝です。《百聞は一見に如かず》。是非、ご利用、お立ち寄りください。 (母性外来 福井 伊左子)

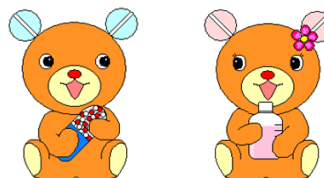


ことばいろいろ「看護外来」

看護外来とは、専門的な知識や技術をもっている看護師が、患者さんやご家族の方の相談に 応じたり、アドバイスやケアを行う外来です。

看護外来では、医師に十分相談できなかったこと、ケア方法や困っていることなどを聞いたりすることができます。通常の診察とは異なり、看護師がじっくりと時間をかけてサポートします。患者さんの毎日が少しでも快適に安心して送れるように、看護師と一緒に考えていきます。 (小児外来 田中 はるみ)

しごとしょうかい ちけん 仕事紹介「治験コーディネーター」



みなさんは熱が出たりおなかが痛くなった時
に、お薬をのんで良くなったことがあるよね。い
ま世界中ではいろんな病気を治すために、新し
いお薬の研究がされているんだ。新しいお薬
を作るには、10年以上のながーい時間をかけて、
本当に効きめはあるのか、良くない事はおこらな
いのかを確認する研究をするんだ。治験コーディ
ネーターは、お薬の研究を病院でするときに関
わる仕事なんだよ。お薬の研究には①から④の
ステップがあるよ。

①まず、薬の会社の研究室で「くすりのもと」
を探すんだ。

②それから、「くすりのもと」を動物に使ってみ
て、どんな病気に効きそうかを確認すると「くす
りの候補」ができるよ。

③次に、病院で「くすりの候補」を患者さんに
使ってもらって、効きめや良くない事（副作用つ
ていうんだ）がおこらないかを調べるよ。これを
「治験」というんだ。「くすりの候補」は誰にで
も使えるわけじゃないんだ。病院の先生が、効き
めがありそうな患者さんに、「くすりの候補」の
研究についてお話して、患者さんが使ってみて
もいいよと決めてから「治験」が始まるんだよ。
この時から、治験コーディネーターは患者さんに
関わっていくんだ。「くすりの候補」はまだ薬と
して認められていないから、副作用がおこらない
か患者さんも不安だよ。治験コーディネーター
は、患者さんの体の変化や不安なことを聞き出す

相談窓口になるんだ。患者さんには決まった日に
病院に来てもらって、先生の診察や検査を受けて
もらうんだ。その時に「くすりの候補」をちゃん
と使えているか、何か変わったことや不安な事は
なかったかを、治験コーディネーターが聞き出し
て、「治験」を続けていっても大丈夫か先生と
患者さんと相談できるようにするんだ。他に、
病院の中のいろんな人たち（看護師さん、薬局
の人、検査の人、事務の人など）に「治験」の
説明をして、みんなに協力してもらうように呼
び掛ける役割や、薬の会社の人と話し合いをし
たり、先生が作る報告書をお手伝いする役割もある
んだ。治験コーディネーターは、治験に関わっ
てもらう人をまとめる（調整する）人なんだよ。
何となくわかってもらえたかな？

④最後に、②～③で調べた「くすりの候補」の効
きめや副作用の結果をまとめた報告書を
厚生労働省というところに出して審査してもら
うんだ。合格をもらえれば「新しい薬」として売
り出され、その病気の患者さんみんなに使って
もらえるようになるんだよ。「くすりの候補」を使
う「治験」に参加してくれた患者さんに感謝だ
ね！

みんなの病気を治してくれる
「新しい薬」が早くできれば
いいね。



(治験コーディネーター 山崎美智子)

がんばり屋さん

T. Sさん

私は、二分脊椎という先天性の脊髄の病気を持って生まれました。小さいころから入退院を繰り返して、手術は何度も経験しました。ひとり病室にいることは不安で寂しかったけど入院のたび新しい友達ができるので楽しみでもありました。小学校に入ると足の変形が進み、手術をして治っても、また変形という繰り返して歩行が困難になり、車いすでの生活になっていきました。同級生が休み時間、校庭で元気に走り回って遊んでいる時は、教室でひとり残って本を読んだりしており、もともと身体を動かすことが好きだった私には、思うように動けないことが一番辛かったです。

ある日、母から「車いすハンドボールをやってみないか」と誘いがあり、ファインプラザに見に行きました。最初は、ぎこちなかったけど、みんなとボールを追っかけ夢中で体を動かし汗を流した後の体も気分もスカッとし、とても楽しかったです。そして自分でもできるスポーツが見つかったことが、何より嬉しかったです。

その後、陸上競技へ移りました。車いすハンドボールは体育館で行いますが、陸上は外で、思いつき風を切って走れます。これは、初めての経験でした。

中学校に入学し、陸上部に入りました。1年の秋、円盤投げに出会いました。ファインプラザ大阪で投擲を指導されている先生から「投げしてみるか。」という誘いがありました。初めて触った1キロの円盤、円盤投げという種目さえ知らず、たった数メートルしか飛ばりませんでした。しかし次第に円盤投げに惹かれていきました。車いすの走りだけでは物足りない

思うようになっていきました。

陸上部の顧問の先生、コーチにも円盤投げをしないと伝えました。目標は、日本記録を出すことでした。そのためにはひたすら、練習をしました。また陸上や円盤投げ関連の本もたくさん読みました。

初めての大会では、緊張の連続でした。結果は、目標の日本記録を出すことができ、達成感でいっぱいでした。次は世界一を目指そうと夢はいっぱい膨らんでいきました。高校でも陸上部に入り、中学とは違い、本格的な練習や厳しい指導、友達や周りの人たちの応援がとても励みになりました。車いすに乗り、障がいを持っていても、陸上を通じて認めもらえることが一番嬉しかったです。興味本位で始めた円盤投げですが、おかげで、大きな目標と自分に自信を持つことができました。

18歳のいま、両手の指を足しても足りない手術の回数、みんなと学校に行けないつらさ、いろいろなことも多くありました。しかし、主治医の先生は、どんな時でも陸上を続けられるように治療や手術の計画を立てて下さり、看護師さんには入院生活でも明るくいつも応援していただきました。歩けない私のために送り迎えをしてくれたお父さんや、どんなに仕事が忙しくても病院に顔をだしてくれるお母さん、本当に感謝しています。

春には大学生になります。陸上競技を続けていくために、体育大学に進学し将来は先生になります。困難な環境だからといってあきらめるのではなく、自分の夢を前に進むことで自分の道ができてゆくのだと思います。



募集中

がんばり屋さんのコーナーでは、登場して下さる方を募集しています。母子医療センターで治療を受け、現在各方面で頑張っている方をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。

詳しいことは、母子医療センター企画調査室までお問い合わせください。

TEL : 0725-56-1220
(内線3241)

E-mail : kikakusi
@mch.pref.osaka.jp



母乳育児成功のための 10カ条

1. 母乳育児の方針を全ての医療に関わっている人に、常に知らせること
2. 全ての医療従事者に母乳育児をするために必要な知識と技術を教えること
3. 全ての妊婦に母乳育児の良い点とその方法をよく知らせること
4. 母親が分娩後、60分以内に母乳を飲ませられるように援助すること
5. 母親に授乳の指導を十分にし、もし、赤ちゃんから離れることがあっても母乳の分泌を維持する方法を教えること
6. 医学的な必要がないのに母乳以外のもの、水分、糖分、人工乳を与えないこと
7. 母子同室にする。赤ちゃんが一日中24時間、一緒にいられるようにすること
8. 赤ちゃんが欲しがるときに、欲しがるままの授乳を進めること
9. 母乳を飲んでいいる赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないこと
10. 母乳育児のための支援グループ作りを援助し、退院する母親に、このようなグループを紹介すること

母子医療センターは「赤ちゃんにやさしい病院」を目指しています（3）

前回の「赤ちゃんにやさしい病院」を目指した母乳育児支援の活動について、引き続きご紹介します。

今回は「母乳育児成功のための10カ条」の中の第4条「分娩後60分以内に母乳を飲ませられるよう援助する」についてです。ここでの支援はおもに分娩直後に行っています。赤ちゃんが産まれて、できるだけ早く親子のスキンシップをはかり、初めての授乳を援助します。

親子のスキンシップは、近ごろ知られるようになってきたカンガルーケア（産まれてすぐの赤ちゃんを直接お母さんの胸に抱っこする）です。このカンガルーケアは、親子のきずなを深め、母乳育児に効果があると言われていています。それぞれのご家族にとって貴重で感動的な時間が、ごく自然に日々おこなわれ、私たちスタッフも温かい雰囲気をもたらしています。そして、お産後初めての授乳の際には、母乳育児への一歩がうまくスタートできるよう、寄り添い支援に励んでいます。

しかし一方で、ニュースや新聞でカンガルーケア中の事故の報道が散見されます。そのような事故を招かないよう、事前にカンガルーケアについて説明し意向を確認しています。また、実施中も安全を第一に、訓練されたスタッフの目とモニターも使い、ご家族とともに見守っています。

さらに、当センターでは病気を持った赤ちゃんや早産で生まれた赤ちゃんも多くいらっしゃいます。お産後、赤ちゃんの治療のため離ればなれで入院生活をおくるお母さんと赤ちゃんにも、医師や助産師、看護師が協力しながらカンガルーケアを行っています。

（早期授乳小委員会 近藤 三枝）

いま研究所では - その1 -

おとなの病気と違って、子どもには原因のわからない病気や通常の検査や診察で診断のつかない病気がたくさんあります。また、原因がわかっても、病気の成り立ちがわからないものもたくさんあります。診断がつかなければ正しい治療はできません。原因がわかっても治療法がない病気では、その成り立ちがわかれば、治療法がわかる場合があります。研究所ではさまざまな病気について、その原因をつきとめたり、診断法を探するなど、病気を詳しく知るための研究を行っています。未知への挑戦ですからとても難しい仕事ですが、母子センターのように子どもの医療を専門にする病院が最新・最良の医療を行うには必要な業務です。病院の横にある研究所で今どのような研究が行われているかについて、これから毎回少しずつ紹介していきたいと思えます。

タンパク質はアミノ酸がつながってできていますが、そのところどころには糖がブドウの房のようについていて大切な働きをしています。これを糖鎖といいます。糖鎖を正しく作るののできない病気は知られていませんでした。それは症状がとてもいろいろで診断するのが大変に難しいからでした。研究所では質量分析という新しい方法を使って糖鎖の変化を調べることでこの病気の原因をつきとめました。そして、多くの患者さんを診断できる方法も開発し、これまで6年間に大阪府をはじめ全国の病院を受診した原因不明の病気の子どもたち600人について主治医から依頼された血液を検査して5人を診断しました。これでも原因不明の病気の患者さんのうちのわずかに過ぎませんが、研究職員や病気の解明をめざす若い研究者やその卵たちは、ひとつひとつ問題を解決しながら、母子センターをはじめ日本や世界で、子ども病院を受診するすべての患者さんについて、病気の原因が一日も早くわかって治療できるようがんばっています。

（研究所 和田 芳直）



地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立
母子保健総合医療センター



〒594-1101
大阪府和泉市室堂町840

電話 0725-56-1220(代)
Fax 0725-56-5682

ホームページもご覧ください。
<http://www.mch.pref.osaka.jp>

センターからのお知らせ

トイレの改修について

母子医療センターのトイレの改修につきましては、患者・ご家族の利便性向上の観点から改修を行っております。

予算の都合もあり、全てのトイレを一度に改修することはできませんが、順次改修を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

(施設保全グループ)



心アンギオ装置が更新されました

心アンギオ装置は心臓の形態や動き、血液の流れ方等を動画として観察できる、主に心臓専用の装置です。新生児や乳幼児などの体格の小さい患児では頭や四肢などのいろいろな部位の血管の検査も行うことができます。

この新しい装置は、あらゆる面で性能・機能が向上しています。例えば今までの約半分の被ばく線量で、より鮮明な画像をみることができるようになったりと、子供に対してより少ない侵襲で検査ができるようになりました。

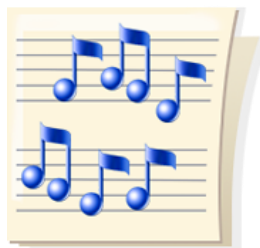
(放射線科)



大阪センチュリー交響楽団 コンサートのお知らせ

と き 平成22年5月18日 (火)
午後3時から
ところ 1階アトリウム

毎年恒例の大阪センチュリー交響楽団コンサートが開催されます。美しい音色をお楽しみください。



大阪府立母子保健総合医療センター 基本理念

1. 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
2. 患者さん中心の、相互信頼の立場に立った、質の高い医療を行います。
3. 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
4. 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。